

しらさぎ24訪問介護看護ステーション
第5回 介護・医療連携推進会議 報告書

開催日時	平成27年 9月17日(木) 18:30~20:00									
出席者 (11)名	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者(一)名 ◆利用者家族(一)名 ◆地域住民代表(一)名 ◆民生児童委員(1)名 ◆医師(一)名 ◆地域包括支援センター(2)名 ◆連携訪問看護(1) ◆中野区介護サービス事業所連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護部門(1)名 ・介護支援専門員部門(1)名 ◆事業所職員(5)名 									
討議期間	平成27年 6月11日 ~ 平成27年 9月16日									
利用状況 (平成27年 6月10日現在)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">現在利用者数 (12)名</td> <td style="width: 33%;">延べ利用者数 (18)名</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>要介護1…6名</td> <td>要介護2…1名</td> <td>要介護3…1名</td> </tr> <tr> <td>要介護4…3名</td> <td>要介護5…1名</td> <td>申請中…0名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用開始…2件 ・利用終了…1件 ・一体型訪問看護利用…3件 ・連携型訪問看護利用…3件 <p>(医療保険での訪問看護…1件)</p>	現在利用者数 (12)名	延べ利用者数 (18)名		要介護1…6名	要介護2…1名	要介護3…1名	要介護4…3名	要介護5…1名	申請中…0名
現在利用者数 (12)名	延べ利用者数 (18)名									
要介護1…6名	要介護2…1名	要介護3…1名								
要介護4…3名	要介護5…1名	申請中…0名								
<p>(1)報告事項</p> <p>①主な質疑</p> <p>②要望、助言等</p>	<p>①質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透析の送迎介助は「送出し」「迎え入れ」がセットになっているのか。 →通常の通院介助と違い、病院内での待ち時間は必要なく「送出し」と「迎え入れ」を別々に切り分けての対応となるが、送迎車利用の有無にかかわらず、基本的にそうなる。この部分については従来型の指定訪問介護と同様のイメージで考えて頂ければ良い。 ・遠方への訪問に対する今後の方向性等はどのようになっているのか。場合によっては他事業所への移行も必要ではないのか。 →前回もお話しさせていただいたが、東方や南方への移動には時間を要するが、そこを起点とした効率的なルートで複数件の訪問をする事により、ロスが最小限になるようにしている。また、利用者の状態によっては顔見知りだから受け入れて頂けるという場合もある。ただし、夜間等の稼働職員数が少ない時にかげ離れたエリアで緊急コールが重なった場合の対応は引き続きの検討課題となっている。 ・援助時間が正味90分というケースがあるが、長くなりすぎて本来の方向性と違っているのではないか(特別な内容なのか・改善策が検討されているのか・長時間を前提とした依頼を受けるのか)。 →本来の方向性とのずれがあることは認識しているが、ケースバイケースで対応せざるを得ないこともある。援助内容を精査し、適宜見直すようにしている。長時間を前提とした依頼については、内容を精査や従来型の指定 									

しらさぎ 24 訪問介護看護ステーション
第 5 回 介護・医療連携推進会議 報告書

	<p>訪問介護との比較等、事前に妥当性の検討を行う場合もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支のバランスは取れているのか。 <ul style="list-style-type: none"> →現段階では非常に厳しいものがある。職員の確保と利用件増について、まさにバランスを取る必要性を強く意識しており、その上での黒字化を目指さなければならないと考えている。 <p>②要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護としては介護保険での利用あれば 2 回／週程度が収支の限界に近く、入りにくい(連携が成り立たない可能性がある)イメージがある。 <ul style="list-style-type: none"> →頻回なコールや訪問看護の対応が必要と予測されたケースも、ほとんどの場合は定期巡回と併せて随時対応・訪問の介護サービスを提供することで利用者の精神的安心・安定につながり、訪問回数減となっている。また、頻回の訪問が必要な状態になっていれば、医療保険に切り替わることも考えられる。 ・連携型の場合の訪問看護事業所の届出、手続きについての情報が行き届いていない。 <ul style="list-style-type: none"> →しらさぎ 24 自身も経験が浅く、ご迷惑をおかけすることとなってしまった。今後はそのようなことの無いよう制度理解を深めて取組んでいく。 ・電話をしてもケア中だったり、電話に出なかったり、折り返しの電話がなかったりと連絡が取りにくい。 <ul style="list-style-type: none"> →迅速な対応を心掛けているが、ほぼスケルトンクルーに近い人数なので、緊急コール以外は対応が遅れてしまうこともあり得る。そうした中で、対応しきれずに連絡できなかったケースがあったかもしれない。今後はより速く確実な対応ができるよう努める。 ・地道に実績を積み重ねることで、事業が浸透、根付く事やアピールに繋がるのではないか。
(2)苦情、意見等 0 件	
(3)事故 4 件 (7/17、8/11、8/18、8/30)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所前での原付のキー抜き忘れ。 ・レンジアップで食器が変形。 ・ヘルパーによる朝夕の薬の取り違い。 <ul style="list-style-type: none"> →同じ薬で問題はなかった。担当ヘルパーに確認の徹底を指導し、他の職員にも再徹底を指示。 ・水切り籠転落による食器破損。 <ul style="list-style-type: none"> →籠を固定し、食器の収納を再徹底。
(4)その他	事業開始から 1 年が経過したので、国の指導に基づき本会議を利用して事業の

しらさぎ24訪問介護看護ステーション
第5回 介護・医療連携推進会議 報告書

	自己評価に対する外部評価を実施する。
次回開催予定	・平成27年12月